

① 大田区に「フェアな民主主義を！」

公平な政治システムのはずの民主主義に、あえて「フェア」とつけなければならないくらい政治に信頼がもてません。

だからと言って政治に失望し遠ざかっても何も変わりません。変わらないどころか関心の無いのを良いことに、一部のひとが民主主義の仕組みを使って制度を変えてきた結果が今の「格差社会」日本です。

でも、日本国憲法は私たちの手にあります。主権者は私たち国民。国会議員も裁判官も公務員も憲法を守らなければいけません。

私が10年間、区議会議員として得た経験を「フェアな民主主義」実現のためにつかいます。



② “おひとりさま”も、老後も、大田区で！ — 高齢者の環境変化と大田区政 —

NHKスペシャル「老人漂流社会」で、ひとり暮らしの高齢者、中でも生活保護水準以下の年金収入しかない高齢者(65歳以上)の問題を取り上げていました。年金が引き下げられ、医療や介護の負担が重くなる中、必要な治療や介護サービスをどう提供していくかは大田区にも求められている大きな課題です。

来年度から行われる介護保険の改正では、比較的軽度な「要支援」の訪問介護(ホームヘルプ)や通所介護(デイサービス)を介護給付からはずし、地域のボランティアやシルバー人材センターがささえる仕組みに変えようとしています。一律に「要支援」から地域支援事業に移行すれば、専門性をもった予防を受けることができず重症化する恐れもあります。

しかも、地域のボランティアが担うと一口に言い



ますが、地域ごとに高齢化率^{※1}やひとり暮らしの高齢者の割合^{※2}も大きく違ううえ、担い手である地域の状況も異なるため、地域で支えるというのは簡単なことではありません。

国の制度が変わったとしても、大田区が責任をもってとりくむべきです。

地方が既に高齢化している中、これから都市部において急速に高齢化が進みます。地方分権により子育てや教育、障がい、介護などのサービスの責任主体が大田区に整理されますが、大田区の責任は果せるのでしょうか。

※1 区内18特別出張所のうち、高齢化率がいちばん高いのは、田園調布…25.1%
いちばん低いのは、雪谷…19.4%



※2 区内18特別出張所のうち、ひとり暮らしの割合がいちばん高いのは、蒲田東…12.6%
いちばん低いのは、田園調布…5.6%



大田区の課題解決の優先順位が大きく問われることになります。

③ 教えてなすちゃん! 「公立学校を株式会社が運営」?

公立学校の運営を民間事業者(株式会社)に認める制度改正が進んでいます。

株式会社は株主の利益を「最優先」します。利益(配当)をたくさん出すためには、「賃金を下げ」「売上げを上げる」などが考えられます。

▶たとえば学校の場合、

- 先生の給与を下げれば利益が増えます。ところが、日本の先生は「世界一」忙しいと言われています。(経済協力開発機構(OECD)の国際調査)。もっと給与が下がることになれば、いい人材が確保できるか心配です。
- すでに大田区の学校給食は民間委託になっていますが、食材は大田区の栄養士が調達しています。民間委託になったら「利益」を出すために、食材の質を落とす学校が出てくるかもしれません。
- 部活にかかる費用(道具やユニフォームなど)は生徒が負担しますが、「売上げを増やす」ために、個人負担が、今より増えることはないのでしょうか?

しかも、政治からの中立が求められている教育ですが、学校を受託した株式会社は直接の雇い主である大田区長や政府の意向に「過度に」合わせた教育をすることにならないでしょうか。

学校の民間委託は「全体の奉仕者(憲法第15条)」として国民のために行動する先生から、株主のために行動する先生に変わるということでもあります。いま、憲法や教育など国のかたちが大きく変わろうとしていて、戦前に似た制度や仕組みが復活する気配を感じます。

みなさんは、どう考えますか?



④ Information バレンタイン 特別企画 ♥ 「わたしが大田区議会議員になったら」 奈須りえ × アーサー・ビナード

特別ゲスト: 鎌仲みゆき / 怒れる女子会 太田啓子・武井由起子(弁護士)

会場: 大田区民ホール・アプリコ 展示室
(大田区蒲田5-37-3 / JR蒲田駅東口より徒歩3分)

2015年2月14日(土)14:00~16:30

参加費: 1,000円 カップル割引: 2人で1,500円!

(男女でも、男同士、女同士、親子など、2名1組ならOK!)



【アーサー・ビナード】
Arthur Binard 詩人
1967年、米国ミンガン州生まれ。
コルゲート大学卒業後、来日。
詩集『釣り上げては』(思潮社)で中原中也賞など。



【鎌仲みゆき】映像作家
代表作「ヒバクチャー世界の終わりに」「六ヶ所村ラブソディー」「ミツバチの羽音と地球の回転」
新作「小さき声のカノン」選択する人々」3月7日より順次公開。

⑤ 奈須りえ Report



▲10月15日 政策発表集会

左から、内田聖子さん(パルク事務局長)

神田香織さん(講談師)・水野誠一さん(西武百貨店元社長・元参議院議員)

▼11月6日 対談「ニッポン
このままでいいんですか?」
孫崎享さん(元外務省情報局長)と



奈須りえホームページ: <http://nasurie.com>

奈須りえブログ: <http://ameblo.jp/nasurie/>



ツイッター / Facebook でも情報発信中!

⑥ 奈須りえ自己紹介します

1961年東京都生まれ

- 東洋英和女学院高等部卒業
- 東洋英和女学院短期大学卒業
- 青山学院大学卒業
- 東京海上火災保険株式会社勤務
- 日本健康福祉用具工業会勤務
- 大田区立調布大塚小学校PTA副会長

1992~1997年 夫の転勤に伴い香港在住
2003年~ 大田区議会議員(3期)

- 「市民 シンクタンク まちづくりエンパワメント」
- 「景観と住環境を考える全国ネットワーク」
- 「呑川ネットワーク」
- 「戦争させない1000人委員会」
- 家族構成: 夫、子ども3人
(長男、男女の双子)大田区北千束在住

10年の
確かな実績
と実力

フェアな
民主主義を!

